

卑劣な買収・分断攻撃＝「成田用水」粉碎 反対同盟、二期決戦に突入！

日刊 動労千葉

84.5.12

No. 1638

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（22）七二〇七

5・20に総決起つくり

現在、三里塚現地では、「今秋二期着工」を狙った成田用水攻撃が開始されています。反対同盟は、これに真向から対決し、四月十五日の緊急第一波行動、五月六日の第二波行動をもって、実力阻止闘争に突入しました。

「二戸一千万円」の買収費

同盟破壊が目的の「成田用水」

そもそも「成田用水」とは、一九七八年、政府・公団が、「空港周辺対策」の名のもとに、二期着工への足がかりとして、一戸当りの政府援助金が一千万円にも相当するといわれる「高額補助金」をえさに、反対同盟の内部を乱・分断し、条件派づくりを狙ってうち出してきた極めて悪らつな組織破壊攻撃です。それは「国家財政の危機」にもかかわらず、国策として、防衛予算と同様に、行革の対象から除外し「成田財政特別法」ということをもって、多額の金をばらまくという、公然たる買収工作そのものであったのです。

そもそも「水」は、農民にとって生命のように大事なものです。政府・公団は、空港建設の名のもとに周辺の水を独占し、「水が欲しければ公団の言うことをきけ」「空港を認めて今条件賛成派になれば政府補助金を大幅に上のせするから」という卑劣な利益誘導で、敷地外の農民を条件派・脱落派に引きこみ、敷地内と対立させる目的で部落のボスを先頭に立てて、札束で顔をはたくようなりやり方で一戸一戸の農家を恫喝し、強行してい

るのです。

「成田用水」実力粉碎！

5・20集会に総決起しよう

こんな卑劣な、汚いやり口をどうして許せるでしょうか！

反対同盟は、実力阻止闘争に決起し、二期決戦として闘いぬいています。

いまこそわれわれは、この反対同盟の決意に応えて決起しなければなりません。

反対同盟の要請にこたえ、四月十五日、五月六日の第一波・第二波の現地闘争には、動労千葉青年部は緊急代表派遣をもって共に闘いに立ち上っています。

3・25闘争の大勝利の地平を、さらに飛躍させ、すべての労働者・人民が勇躍決起し、敷地内反対同盟をしっかりと守りぬき、同時に、このような敵の卑劣な分断攻撃と必死で闘う騒音直下地域Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの闘う反対同盟農民を支え守って闘いぬくこと！ここにこそ二期決戦勝利のカギがあります。そのために、5・20総力をあげて決起し、今秋二期決戦への勝利の突破口としようではありませんか。



敷地内と騒音地区は共に闘う 5・20に全力で結集してほしい (天神峰)小川嘉吉さん

成田用水の四月～五月着工ということは、これほどあからさまな敷地内と敷地外の分断攻撃はありません。これは、わたしたち、反対同盟の十八年間の闘いの「金にも法にも権力にも負けない」という結果、どうしようもなくなった政府・公団・権力が、なんとか敷地内を孤立させ、圧力をかけ任意買収という

と権力の腐敗を糾すというわたしたちの敷地内の決意は不動です。

かたちで土地をとりあげようとす。基本路線をつらぬいて、法

に敵対して平然としている用水派の人々に、わたしたちは本当に怒りを押えることはできない。たたかいがすすむにつれて、彼らはペテンが通用しなくなつてしまつていく。当初彼らは「空港反対・用水賛成」などといつて「空港に反対するために用水を認めてほしい」などというこ

とを言っていた。ところが反対同盟の大義がますます明らかになるなかで、いや応なしに「用水賛成」「空港賛成」という正体が明らかになってきているのです。彼らは、金に負けたのです。ということは、三里塚の大義を捨て去つたということです。このことは、脱落派も同じことです。二期着工ということがいろいろいわれていますが、わたしたちの土地を守るといふたかたの根本をどうすることもできないのですから、このうえは、日本の社会を正すという三里塚闘争の使命を自覚してたたかいますのでよろしく願います。